

# 三井住友トラスト・アセットマネジメント



三井住友トラスト・  
アセットマネジメント  
代表取締役社長  
菱田 賀夫

三井住友トラスト・アセットマネジメントは、皆さまの生涯を支える基盤である、年金の運用をルーツとしています。1960年代初頭以来、国内外の株式、債券など、幅広いアセットクラスにおいて運用技術を磨き、国内のお客さまをはじめ、海外のお客さまにも、多くの商品を提供しています。

資本市場における当社の役割は、投資先企業の持続的な成長を促し、その果実を投資家にもたらすインベストメント・チェーンの一部として、経済全体の健全な成長に貢献することです。運用会社である当社は、インベストメント・チェーンの高度化に向け、建設的な対話を通じて投資先企業の価値創造において積極的な役割を果たし、共に成長を実現していきます。

具体的な取り組みとして、当社では、SDGs（持続可能な開発目標）の17のゴールの達成も視野に入れ、重要なサステナビリティ課題を12項目からなる「ESGマテリアリティ」として体系化しています。株式や債券のアクティブ運用などにおいては、ESGマテリアリティの視点から投資対象企業を評価し、それを投資

判断に反映する「ESGインテグレーション」を行っています。加えて、投資先企業との建設的な対話や、国際的なESG推進団体とのさまざまな分野での協働を通じて、グローバルな視点でESG課題の解決に取り組んでいます。こうした取り組みの成果を、インデックス型、非財務情報を重要な投資判断根拠とするESG考慮型、そしてESGフォーカス型、さらにはインパクト投資と、さまざまな商品ラインアップを通じてお客さまに届けています。また当社は、機械学習などのテクノロジーや、伝統的な財務情報など異なるオルタナティブデータを活用したデータサイエンスへの取り組みにも注力し、新たな運用手法の開発や運用商品のクオリティ向上に日々取り組んでいます。

未来の可能性を拓き、真に“豊かな”社会を育むため、当社は今後も信託銀行グループの一員として長期的視点に立ったソリューションを提供するとともに、お客さまにとって必要不可欠な自立した運用会社として、お預かりした大切な資産を中長期的に増やすことに全力を尽くします。